



実施期間

【12/20～2/7】

ゆっぽろシート

【雪】キャラクター「ゆっぽろ」

札幌市立西岡北小学校

「さっぽろっ子雪ウイーク」における取組

ねらい

- ・雪を使って遊ぶことを通して、冬の特徴や他の季節との違いに気付き、雪を使った遊びを工夫している。
- ・雪を使って遊ぶことを通して、楽しみながら自分の生活や遊びを創り出そうとしている。

取組内容

・「北風がはこんでくるものはなあに」～秋と比較して、どのような変化があるか考えたり、冬ならではの遊びやスポーツ、地域の祭りについて思い出したりする。

・「スノーランドギネス」～グラウンドで雪を使った遊びの計画を立て、チームに分かれて、遊びのルールや必要なものを考えた。実際にグラウンドに行き、自分たちの遊びを試し、ルールや進行の仕方、審判方法などを考え直した。前半、後半のチームに分かれ、司会進行役とお客さん役を交代しながら、雪遊びを楽しんだ。



成果

- ・実際に、グラウンドで自分たちが考えた遊びを試す機会を2回もつことによって、「時間をもっと長くしよう。」「もう一つコースを作ろう。」「雪玉を事前にたくさん作っておこう。」など遊び方の質を上げていく取組が見られた。粘り強く活動する力、試行錯誤する力、友達と協力する力が高まった。
- ・休み時間も身支度を整え、グラウンドで雪遊びをする姿がたくさん見られるようになった。

次年度の取組に向けて

・今年度は、1月下旬まで雪が降らず、気温も高かったので、ガリガリ雪の中、雪作業が難しかった。1月下旬からは大雪でグラウンドに雪が降り積もり、歩くことも困難な状態だった。次年度の雪状況は分からないが、対応できる身支度(いつもの冬の身支度にプラスしてもっと雪の入りにくい靴、替えの手袋靴下等)、子どもにも扱いやすいスコップ等の用意を家庭にも呼び掛けたり、グラウンドの排雪について相談したり、余裕のある日程を組んだりしながら、子どもたちが楽しく安全に、雪に親しむことができる環境づくりを整えることが必要だと思われる。